

一般社団法人日本医療・病院管理学会
平成 29 年度第 1 回定時社員総会
議事録

1. 日時：平成 29 年 2 月 21 日(火) 14:30~16:00
2. 場所：弘済会館「きく」 東京都千代田区麹町 5-1
3. 社員総数 85 名 出席者 39 名、委任状提出者 27 名(別紙 1)
4. 開会

浅野理事が、出席者 39 名、委任状による議決権の行使 27 名、合計 85 名のうち、過半数 43 名を超えるため、「平成 29 年度第 1 回定時社員総会」を開催することが報告され開会を宣言した。

第 55 回学術総会の説明のため上條由美副会長が本理事会にオブザーバー参加することが説明された。

5. 理事長挨拶

寛理事長より「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」では、決算理事会を開催した後に 2 週間あけて社員総会を開催しなければならない規程があるとの説明があり、来年度以降は日程をずらして開催することとすることについて、社員総会において説明する旨の説明があった。

6. 議長選出

浅野理事より、議長は、川淵前学術総会長は用務の為欠席のため前々回学術総会長を指名する。慣例により池田前々学術総会長を指名される。

7. 報告事項

- ① 平成 29 年度事業経過報告

○事業報告：浅野理事より、(資料 1-1)に基づき報告がなされた。

○浅野理事より資料 1-1 に基づき平成 29 年度事業経過について報告があった。第 55 回学術総会、平成 29 年度例会の開催状況と開催計画、雑誌発行状況について説明があった。緒方理事より資料 2-2 に基づき、例会担当校の追加、担当者名等の変更がある旨の説明があった。

引き続き各委員会委員長より資料 1-2 に基づき説明がなされた。

○第 55 回学術総会開催準備に関する件

上條第 55 回学術総会副会長より、当日配布資料に基づき第 55 回学術総会開催準備状況について報告がなされた。特別講演・シンポジウムの一部では日本看護管理学会との連携も予定している旨の報告がされた。また、前日の社会医学系専門医の研修会や、関連する他学会会員の参加費割引の取り扱いについて、学術総会長と検討していく旨の発言があった。

○平成 29 年度委員会活動計画：各委員会代表より、(資料 1-2)に基づき報告。

○学術情報委員会：伊藤理事より説明。用語集について、8 領域 81 語の重点用語集の素案作成をしたこと、本日の社員総会后に例会を開催し各領域担当委員会から報告いただく予定であること、今後は執筆者の方々に著作権放棄を了承いただき今後の変更を容易にできるように手続きを進める旨の説明があった。また加藤多津子氏(東京女子医科大学)を委員に加えた旨の説明があった。

○編集委員会：池田理事より年 4 回の会議を開催し、日本医療・病院管理学会誌の編集、発刊をしている旨、報告があった。また、編集委員会の作業は投稿者、査読者の方があって成り立つものである、積極的に投稿をいただきたいと説明があった。

- 学会賞選考委員会：池田理事より今後、学会長の選考をしていく予定であること報告された。
- 教育委員会：白髪理事より説明。文部科学省より医学教育モデル・コア・カリキュラムについての意見募集があり、教育委員会および評議員の意見を集約して回答した旨の報告があった。また社会人の研修カリキュラムについて、県単位の病院協会や日本病院会などが開催している研修会の実施資料を収集している旨の説明があった。
- 国際委員会：上塚理事より説明。アカデミーヘルスへの参加について報告。口頭発表は敷居が高いが、ポスターセッションは採択率も高く、グローバルヘルス領域などは当学会会員の参加も可能ではとの説明があった。
- 研究委員会：中山理事より前回報告した以降の大きな動きはない旨の説明があった。今後、研究を活性するための勉強会や研究を遂行するための研修会などの企画、「課題研究」の設定や、募集を検討している旨、報告があった。
- 組織委員会：小山理事より説明。定款第3章第14条第5項にある「4月に」の削除について社員総会で審議いただく旨の説明があった。
- 利益相反委員会：寺崎理事より説明。第54回学術総会にて実施したパネルディスカッションの内容を学会誌に掲載する準備を進めている旨の報告があった。今年度の学術総会もCOI関連や研究不正などで企画を検討している旨、報告があった。
- 専門医委員会：今中理事より資料1-2-⑨に基づき説明。当学会としては医療経営、医療安全、地域包括ケアシステム、医療介護政策の4領域のサブスペシャリティ内容を検討している旨の説明があった。社会医学専門医協会が昨年12月に一般社団法人となり、加盟学会・団体の学術総会に合わせた研修会のほか、eラーニングによる社会医学系各団体での情報共有等も検討中である旨の報告があった。
- 事業委員会：緒方理事より例会担当校の変更について報告があった。
例会担当者の異動にともない東北薬科大学で伊藤道哉先生が、聖隷クリストファ大学で鶴田先生が担当することが報告された。
- 組織連携委員会：鶴田理事より資料1-2-⑩に基づき説明。過去6年分を遡って組織連携依頼のあった団体の状況について調査している旨の説明があった。また第55回学術総会においても日本看護管理学会と連携する予定である旨の報告があった。
- 広報委員会：川淵理事が欠席のため報告なし。

② 「機関別認証評価委員会専門委員候補者の推薦」依頼について

- 浅野理事より、独立行政法人大学評価・学位授与機構からの「機関別認証評価委員会専門委員候補者の推薦について、(前回同様)池田理事と、今中理事を候補者として推薦した事が報告された。今回も前回同様に池田理事と今中理事に候補者として推薦する。

③ 日本医療・病院管理学会誌投稿規定・執筆要領の改訂について

- 池田編集委員会担当理事より、執筆要領・投稿規程の改訂を報告。

(28—臨時理事会議事録より) 当分は英文投稿の受付は行わないこととしたい旨の提案があった。理由として、他の社会医学系学会誌における英文投稿の受付状況について調査したところ需要がほとんどないこと、査読においても負担が大きく困難と思われること等が報告された。投稿規定およ

び執筆要領について、投稿規程の6について簡易書留以外の方法も認めること、投稿規程の13についてCOI規定について記載したこと等が説明された。なお投稿規程の表記を投稿「規定」とすることも併せて報告された。

④ 一般社団法人社会医学系専門医協会 設立時協力負担金の拠出依頼について

○今中理事より、資料3に基づき報告。

・理事会で日本医療・病院管理学会として社会医学系専門医協会設立時協力負担金の拠出をすることが理事会で承認されたことが報告された。

・寺崎理事から、評議員の約40%が医師であり、社会医学系専門医制度に関連し20万円を支出することについて意見もあると思うが、本学会は日本医学会に参加をしているという観点から対応できるという利点がある点をご理解いただきたいと発言があった。

⑤ 平成28年度日本医学会連合加盟学会連絡協議会の件

○寺崎編集委員会副委員長担当理事より、資料4に基づき報告。

・日本医学会連合加盟学会連絡協議会の会議の中で、個人情報保護に関する法律の改正についてパブリックコメントをうけて現在行われている研究においては、その遂行を阻むものではないことが説明された旨、報告された。

⑥ 後援依頼の件：浅野理事より、『23回第1種ME技術実力検定試験』講習会（2017年4月9日・16日・23日）および第1種ME技術実力検定試験（2017年6月25日）の協賛依頼があった旨、また第21回日本医業経営コンサルタント学会広島大会の後援名義使用依頼があった旨の説明があり、了承された。

⑦ 新入会員報告の件

○浅野理事より、資料5に基づき、12/6臨時理事会にて20名、本日2/21第1回定時理事会にて14名が承認されたことを報告。

⑧ その他

8. 審議事項

第1号議案 平成28年度事業報告・決算報告・監査報告

○浅野理事より資料6-1に基づき平成28年度事業報告がなされた。

○福田理事より資料6-2に基づき平成28年度会計報告がなされた。

○橋本監事より資料6-3に基づき平成28年度会計監査報告がなされた。

第2号議案 定款改正に関する件

○算理事長により、資料7に基づき評議員の選出について、提案。

・組織委員会から説明があったが、2年に1度「4月に」と記載されているが、期間的に難しいため、「4月に」を削除したい旨、説明があり承認された。

第3号議案 評議員候補者審査会メンバー選出の件

- ・ 寛理事長より、資料8に基づき評議員候補者審議会のメンバー7名の推薦があり、承認がなされた。

第4号議案 選挙管理委員の選出の件

○ 寛理事長より、理事選挙の選挙管理委員として、上塚芳郎先生、川島英樹先生を選出する事を提案し、承認された。

その他

- ・ 社会医学系専門医の制度について、研修が医師だけのものであるとすることは医師以外の職種のモチベーションが上がらないのではないかと考えるため、可能であれば、他の職種にも共通の研修とし企画し、医師の専門医制度のプログラムの共通するものとしたらどうかと提案があった。
- ・ 寛理事長から、今後、学会として理事会を含めて検討していきたい。
- ・ 今中理事から、専門医制度の議論がなされ始めたときから、社会医学は多職種だからこそなりたつ領域であるからこそ、議論をしていく必要があると思っている。4つのタスクフォース、医療安全、地域包括ケア、医療政策などに関連する内容も含め委員会の中で議論をしていきたいと説明があった。
- ・ 会員数を増やすための方略について理事会で検討をしたが、今後3つ折りパンフレッドのようなものを作成したいと考えていることが報告された。

9. 閉会

寛理事長より挨拶があった。

池田第52回学術総会長より、定時社員総会の閉会が宣言された。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し、議長および出席理事が次に押印する。

平成29年3月17日

一般社団法人 日本医療・病院管理学会平成29年度第1回定時社員総会

議事録署名人

代表理事 寛 淳夫



理事 浅野 晃司



理事 池田 俊也



理事 伊藤 弘人



理事 今中 雄一



理事 上塚 芳郎



理事 緒方 泰子



理	事	小山 秀夫	
理	事	白髮 昌世	
理	事	鶴田 惠子	
理	事	寺崎 仁	
理	事	中山 茂樹	
理	事	福田 敬	

(別紙)

出席者：浅野晃司、鮎澤純子、池崎澄江、池田俊也、石川澄、伊藤弘人、伊藤道哉、今井博久、今中雄一、上塚芳郎、梅里良正、岡田美保子、尾形裕也、緒方泰子、折井孝男、笕淳夫、糟谷昌志、勝山貴美子、加藤憲、加藤多津子、加藤由美、上條由美、川島英樹、小林健一、小山秀夫、根東義明、島崎謙治、白髪昌世、竹田秀、田城孝雄、鶴田恵子、寺崎仁、中山茂樹、信川益明、濱島ちさと、福田敬、安田信彦、山下哲郎、吉村公雄

委任状提出者：安次富郁哉、安西将也、池上直己、井手義雄、伊藤公一、宇田淳、岡本裕一、加藤尚子、酒井順哉、須賀万智、高木安雄、高橋泰、田久浩志、戸根敬夫、長瀬啓介、長谷川剛、長谷川友紀、平尾智広、伏見清秀、松田晋哉、森山美知子、山内慶太、山田覚、山本武志、山本光昭、山本康弘、渡邊一平